



藤川 晋之助

一般社団法人藤川選挙戦略研究所 代表理事

集中 OPINION

知力を尽くして選挙を戦う参謀役 未来を担う有能な政治家を育てる

今年日本と米国で、国の今後を左右する大きな選挙が行われた。選挙は候補者同士の戦いと思われがちだが、実は陣営同士の戦い。総力を挙げてぶつかり合う組織戦でもある。そうした選挙の戦いの中で、公約を練ったりPR戦術を立てたりするのが選挙プランナーと呼ばれる人達だ。選挙では「風が吹く」というが、如何に陣営に有利な風を吹かせ、どう風に乗るのかを考えるのもプランナーの重要な役割となる。今年、東京都知事選挙で善戦した石丸伸二氏や、自民党総裁選を戦った高市早苗氏の参謀を務めて注目を浴びた藤川晋之助氏に、選挙運動の裏側や求められる政治家像等について聞いた。

——石丸伸二氏や高市氏への支援で注目されました。

藤川 都知事選には余り気乗りしていなかったのですが、石丸氏の後援会長であるドトールコーヒーの

鳥羽博道名誉会長から、直接頼まれてお引き受けしました。石丸氏は最初1人きりでしたから、私の事務所が総力を挙げて応援しました。殆どボランティアでしたが、165万票を獲得したお陰で、私の知名度も上がった。広告料として2億円の価値があったと思っ

「今度は高市を手伝って欲しい」と鳥羽名誉会長に

頼まれた。若い人を応援した次は、初の女性総理を目指すのも悪くはないと思っ、お引き受けしました。——10月の衆議院選挙の結果をどう見えていますか。

藤川 事前の考えでは、与党は苦戦しているものの、最後は自民と公明でぎりぎり過半数を維持すると見ていました。しかし、終盤に自民党が非公認候補側に2000万円の活動費を支給した事が明らかにな

って、流れが急変した。選挙で負けた石破茂首相は、少数与党で、国民民主党や日本維新の会の協力を得ながら乗り切るつもりなのかも知れませんが、不安

定な政権運営は難しいでしょう。アメリカ大統領選の結果も、世界情勢に大いに影響を与える事になり、そう考えるといくら連立を重ねたとしても「弱

——選挙の争いは何ですか。
藤川 約30年、選挙の争いは、米国の選挙プランナーと参謀をした

事は有りませんが、それでは駄目だ、という事は自分

続きを読むには購読が必要です



詳しくはホームページをご覧ください